

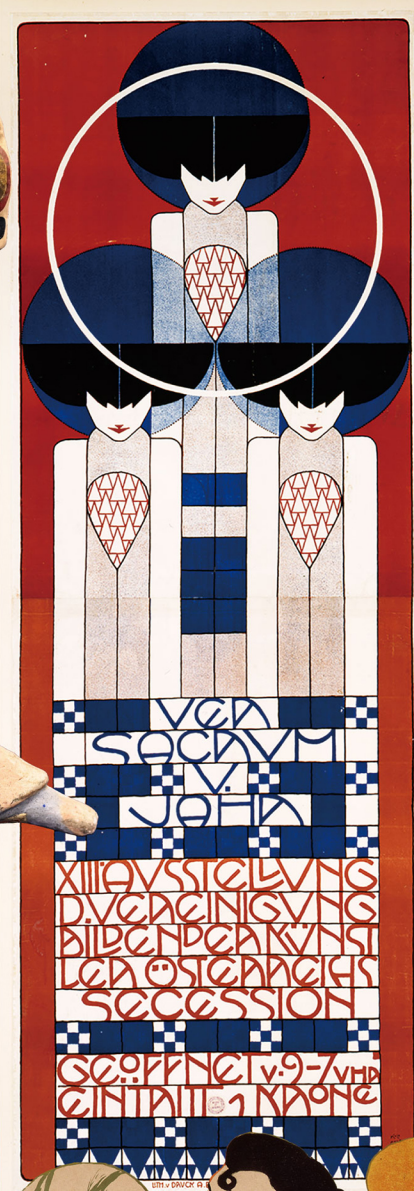
ANNIVERSARY SPECIAL EXHIBITION

120周年

京都高等工芸学校開校120周年記念特別展

デザインの夜明け

— 京都高等工芸学校初期10年 —



2022年10月3日(月) - 12月17日(土)

京都工芸繊維大学美術工芸資料館

* 会期中、展示替があります。

開館時間 10時 - 17時 (入館は16時30分まで)
休館日 日曜・祝日、10月22日(土)
会場 京都工芸繊維大学美術工芸資料館
入館料 一般200円 / 大学生150円 / 高校生以下無料

* 大学コンソーシアム京都に加盟する大学の学生・院生は学生証の提示により無料
* 身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳または被爆者健康手帳を持参の方及び付添の方1名は無料(入館時、手帳を提示)

附属図書館【ML連携企画】 京都高等工芸学校120周年記念特別展示





デザインの夜明け

— 京都高等工芸学校初期 10 年 —

120TH ANNIVERSARY SPECIAL EXHIBITION

2022 年は、京都工芸繊維大学の前身校のひとつである京都高等工芸学校が開校して 120 年目の節目の年です。京都工芸繊維大学美術工芸資料館では、この節目の年を記念し、展覧会「デザインの夜明け—京都高等工芸学校初期 10 年—」を開催することとしました。

明治 35 年 (1902) に京都高等工芸学校は開校します。京都の伝統工芸の近代化を理論的、技術的にバックアップすることが目的で、地元の伝統産業の担い手たちが設置を望んだ結果でした。初代の校長は、東京帝国大学で応用化学を学び、わが国の工芸の近代化に大きく貢献したドイツ人化学者ゴットフリート・ワグネル (1831-92) の元で研究を続けた中澤岩太 (1858-1943) でした。中澤は、明治 33 年には渡欧して、パリ万国博覧会を見学するほか、ヨーロッパの実業学校の視察をおこないました。パリでは洋画家で東京美術学校西洋画科の教授であった浅井忠 (1856-1907) と出会い、開設する京都高等工芸学校の教員になるよう説得しました。

その後、京都高等工芸学校は順調に発展して、明治 45 年 (1912) 7 月 3 日には、第 8 回目の卒業式に合わせて、開校 10 周年の記念式典を開催しました。そして、この記念式典に合わせて、7 月 3 日から 7 日まで、校内全体をつかって、収蔵しているポスターなどの標本類、参考品や生徒作品の展示をおこないました。本展覧会では、記念式典の折に展示をされた標本類などを展示するほか、初期の教員がヨーロッパから購入してきた参考品類、開校時に学校を軌道に乗せるために尽力をした初代校長中澤岩太以下、2 代目校長となった鶴巻鶴一、図案科初代教員の浅井忠、武田五一、牧野克次、都鳥英喜らの作品類、生徒作品の数々を展示して、開校初期 10 年の京都高等工芸学校のあり方を振り返ってみたいと思います。

なお、今回の展覧会には、京都高等工芸学校関係者やそのご遺族から多くの作品、資料、情報のご提供をいただきました。ここに感謝の意を捧げたいと思います。

表面掲載作品：

左上から反時計回りに、ジュール・シェレ《パレ・ド・グラス》1893 (部分)、浅井忠《梅園花生》1902-1907、《黒縮緬秋草文蓋物》江戸～明治時代、《沢湯文蓋小壺》1902 以前、アンリ・ド・トゥールーズ＝ロートレック《『歓楽の女王』》1892 (部分)、コロマン・モーザー《第 13 回ウィーン分離派展》1902 中央タイトル周り右上から時計回りに、《各地方玩具 (狗張子、鳩)》江戸～明治時代、ルイス・コンフォート・ティファニー《ティファニー・ガラス花瓶》19C 末～20C 初

講座「デザインの夜明け—京都高等工芸学校初期 10 年—」

浅井忠をはじめ京都高等工芸学校初期教員の活動を、展示に即してご紹介します。

日時：2022 年 11 月 27 日 (日) 13:30～16:15

会場：60 周年記念館 1 階、定員：50 名程度 (当日先着順)

入場料：無料 * 講座終了後、展覧会をご覧ください。

ギャラリートーク

2022 年 10 月 8 日 (土) 15:00～16:00 頃

定員：15 名程度 (当日先着順) * 入館料が必要です。

附属図書館【ML 連携企画】

京都高等工芸学校 120 周年記念特別展示



当館の感染症予防対策の取組み

- ・お客様対応をおこなうスタッフはマスクを着用し、検温による健康チェック及び手指の消毒をおこなっております。
- ・受付には、飛沫感染防止用使い立てを設置しております。
- ・館内入口と一部展示室の窓を常時開放し、可能な限りの換気努めております。
- ・多くのお客様が手を触れる箇所の定期的な消毒を実施しております。

ご来館の皆様へのお願い

- ・発熱、せき、くしゃみ、臭覚・味覚異常など風邪の症状がある方や、体調のすぐれない方の入館はご遠慮くださいますようお願いいたします。
- ・マスクの持参・着用をお願いいたします。
- ・来館時に検温を実施いたします。37.5 度以上の熱があるお客様は、ご入館をお断りいたします。
- ・団体でのご来館はお控えください。混雑状況に応じて、入館をお待ちいただく場合がございます。
- ・設置している消毒用アルコールで、手指の消毒をお願いいたします。
- ・ご入館の際に、氏名・連絡先等の記入をお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、何卒ご協力のほどお願い申し上げます。



1



2



3



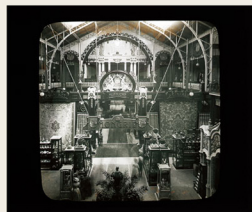
4



5



6



7



8

1. 中澤岩太《宝珠》1931 2. 浅井忠《武士山狩図》1905 3. 鶴巻鶴一《唐獅子牡丹鷹縹屏風》1932 4. 武田五一図案、七代錦光山宗兵製作《百合花模様花瓶》1912 5. エドモン・ブティジャン《『パリ・ヴィヴァン』誌》1890 6. フェリクス・ヴァロットン《『ラ・ペピニエール』誌》1893 7. 《幻燈写真画—1900 年パリ万国博覧会場情景 66》オーストリア装飾館 8. 《モクレン模様窯変ラスタ—釉花瓶》1910 以前

お問い合わせ

〒606-8585 京都市左京区松ヶ崎橋上町
TEL 075-724-7924 <https://www.museum.kit.ac.jp/>

交通

- ・市営地下鉄烏丸線「松ヶ崎駅」下車 1 番出口から徒歩約 8 分
 - ・京都バス「高野泉町」下車徒歩約 10 分
 - ・叡山電車「修学院駅」下車徒歩約 15 分
- By Subways: Take Karasuma Line Subway to "Matsugasaki" Station, exit from Exit 1 and walk east for 8 minutes.
By Kyoto Bus: Get off at "Takano-Izumicho" stop. Cross the Takano river and walk west for 10 minutes.
By Eizan Railway: Get off at "Shugakuin" Station and walk west for 15 minutes. Museum and Archives is located in front of the main entrance of KIT west campus.

